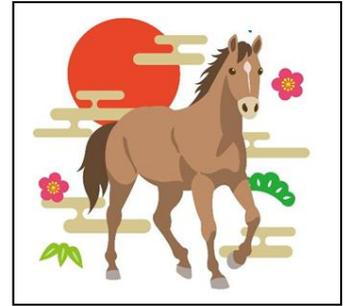


# 2026年の抱負

## 1. 2026年の初夢

右掲は、「午年」のイラストですが、今年は満77才になります。昨年7月に創業30周年を無事に迎え、三男に事業承継して相談役になりました。本当に「肩の荷が下りた」と実感していますが、高齢者の「キョーイク、キョーヨー」問題に直面しています。お陰様で「キョーイク」つまり「行く所」に関しては、自宅と事務所は直線500m程の近距離なので徒歩で事務所に毎日2往復しています。毎朝、近所の喫茶店でモーニング仲間と談笑してから出社、これは土日も同じです。つまり、「行く所」に関しては他の方々と比べると恵まれています。大きな課題は「キョーヨー」つまり「今日の用事」です。相談役になって、お客様との距離感が出来て「仕事量」が減っており、それを埋める為に記事を書いています。量的に不十分な状況です。「量」が不足なら「質」を上げて時間をかけるという事になりますが、これにも限度があり「時間」を持て余す傾向にあります。

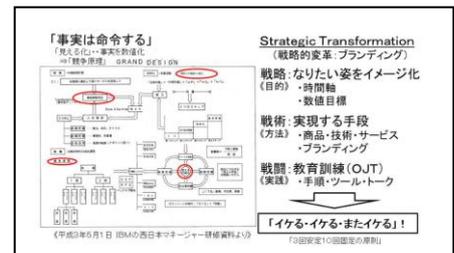


喫茶店で読む新聞の女性向け雑誌「ハルメク」の広告で「ひとり時間の充実」が書いてありました。この「ひとり時間」は私のような独り身ではない方へのアドバイスだと思いますが、やはり、私の場合も「好きな事」を楽しむというスタイルが良いと共感しています。まとまった時間を作って「旅行」という訳には行かないので、カラオケは三波春夫さんの長編歌謡浪曲が好きなので「一人カラオケ」が丁度良いし、最近、「さび」の歌い方を少し身につけたので坂本冬美さんの「能登はいらんかいね」で100点が出たように90点台が多くなっているのがハマっています。また、健康の面では、例えば、「お好み焼き」を作るようになったように、レパートリーを増やす方向でチャレンジしたいと思っています。

今年は「午年」なので、何事も「先行逃げ切り」が鉄則、つまり、何かの具体的な事に集中してチャレンジする事で「流れ」を作りたいと思っています。「流れ」が出来れば「コツ」も掴むようになり「喜び」に繋がります。そして、「流れ」を持続すれば「ゾーン」になって発展できるとしています。

## 2. 「戦略的変革」(Strategic Transformation)

右掲は983号でご紹介したものです。私自身は今年満77才になる後期高齢者なので「戦略」という程の大袈裟なことは避けたいと思っています。前項で書いたように「一人カラオケ」や「料理」へのように身近な事柄にして、例えば、‘23年3月に始めた「独り言川柳」はほぼ毎日詠んでおり、facebook や X に公開する仕掛けで継続するようにしています。



「凡事一流」という言葉がありますが、何事も「量」をこなしてコツを掴むと「質」が高まって行くという考え方で、「なりたいたい姿」と「現実」のギャップを知り、課題をブレイクダウンして実行系に落とし込むことが重要です。例えば、「高級車販売店になる」という「姿」と現実のギャップで営業所のクリーンアップする「4S活動」と高額な下取車を中古車として販売することを課題として展開したのです。改善チームが現場指導して、その進捗状況をシステムで「見える化」でPDCAをしました。

この「やり方」は、IBMの「戦略的変革」(Strategic Transformation)とトヨタの改善活動がミックスして調和したものと考えています。つまり、「なりたいたい姿」を明確に掲げて現場の方々と共有して、具体的な課題を改善しているのです。往々にして「戦略」というとKPIなど数値面が強く出て来ますが、到達するには「着手小局」に徹することが重要です。「出来ることからコツコツ」と言いますが、何事も一挙に出来る訳ではなく、製品開発でも試作を繰り返して性能を高めて行くように、「身近なこと」でも繰り返しながらブラッシュアップするという「凡事一流」の考え方がポイントになります。

### 3. アンチエイジング

昨年6月に嘔吐して胃腸科にかかるようになり、その診断で腎性貧血が表面化して栄養指導を受けました。基本的には「タンパク」と「塩分」の2項目であり、実践系としては「タンパク」は肉類を1日100gにおさめる、「塩分」は1日6g以内になるように薄味にしています。お陰様で頻尿も治まり夜中に1回目が覚める位になっています。体力的には「腎性貧血」を改善するダーブロック錠を服用して貧血を改善しており気分的にも軽くなって来ています。また、嘔吐で危惧した「がん」は胃カメラや大腸カメラでは異常がなく大腸のポリープを4つ切除しただけで済んでいます。

このように内科的な事柄は順調に推移していますが、今年満77才になるので体力的な衰えに「抗う」ことが大きな課題です。まず、「出来る事」として「内臓血流」をよくすると考えて30分のインターバル・ウォーキングを実施しています。やり方は右掲のようにして3分間の速歩(さっさか歩き)と3分間のゆっくり歩きを1セットとし、1日の早歩きの合計が15分になればよいので、朝・昼・晩とこまめに分けて実施しても大丈夫との事です。これを持続する習慣づけをしています。



NHKスペシャルで「不老長寿」がありましたが、医学の進歩は著しく、いろんな薬や治療法が生まれています。私も前述のように「腎性貧血」になっていましたが、良いお医者様に巡り合ってダーブロック錠を処方して頂き、気分的にも元気になって来た感じがしています。番組では長寿になった分、如何に過ごすかが大きな課題と言っていました。私は「百歳現役」を夢見っていますが、あと23年もの時間がります。肉体的には元気であっても、精神的な面で「遣り甲斐」を実感する24時間を積み重ねたいと思います。さらに、できるだけムダな時間を過ごさないようにチャレンジして行きたいと思っています。

### 4. 第3の青春にチャレンジ

しかし、残念なことに気付きました。それは、サイクリックな生活の積み重ねで「キョーヨー」や「キョーイク」の重要な課題を解決していますが、単調な生活パターンなので「曇り時々晴れ」の「晴れ」が少なく、マンネリ化するという落とし穴があるのです。この脱マンネリにはサミュエルウルマンの「青春」の詩が大事です。私は、「コンピュータをやりたい」と言ってトヨタ系販売店の故福井社長に出会い20年間情熱を燃やしましたが、諸事情があって「社長はクルマの道、私はシステムの道」と辞表を出し、少し迷走しましたが船井総研との出会いがあり、'95年に経営コンサルティング会社を立ち上げ「情熱」を燃やし続けて来ました。これが「第2の青春」でした。去年7月に三男に事業承継を果たし相談役になりました。

「相談役」と気楽な肩書になり論語の「七十にして心の欲する所に従えども矩を踰えず」(不踰矩)を旨にしながらも「百歳現役」を目指して「情熱」を燃やし続けたいと思っています。私自身は「第3の青春」と名付けて、「健康」=「運動」x「食事」x「社会」の公式に「気合」を付け加えてアンチ・エイジングに挑みたいと考えています。しかしながら、「続けられる事」=「才能」という意味では、コンピュータは遠のき、経営コンサルタントとしても時流から遅れ始めていると自覚しています。

しかし、時代はサブスクで色んなことがポケットマネーで出来る時代でもあります。「求めない」は加島先生の詩ですが、お陰様で年金を頂き、会社にも事務所や社宅を貸しているので家賃収入を頂ける身分になっていますので本当の意味で「求めない」を貫ける環境になっています。ある意味恵まれた環境を活かして「第3の青春」を突き進めたいと思っています。例えば、このメルマガは990号ですが、1000号は目前になっており、さらにその先の2000号を目指すことが当面の課題です。約20年後は97才になっていますが、「着実・前向き・具体的」という実践「訓」を貫いて「新しい時代」を取り入れながら「情熱」を注ぎ込み、「健康」=「運動」x「食事」x「社会」x「気合」を実践して行きたいと願っています。